

# 図書館だより



2019年（令和元年）

5月7日・火曜日

第20号（新着図書号）

北海道旭川永嶺高等学校  
図書館

第18、第19号に引き続き、新着図書は、請求記号、書名、著者、出版社の順に記載しています。

請求記号	書名	著者	出版社
6産業	645 身近な野菜の奇妙な話	森昭彦	S Bクリエイティブ

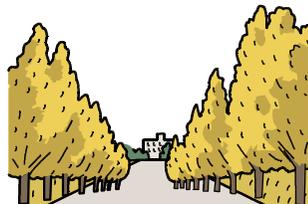
街のお店、郊外の畑でお行儀よく並ぶ色とりどりの野菜たち。その祖先は世界各地の雑草、野草のたぐい。その恐ろしい生命力、美味なる実や葉、全容未解明の健康効果に、人は幾星霜も魅惑されています。歴史に隠されたいわく、陽なたぼっこの裏側で作られる成分、予想外の実態や利用法…。当たり前であって、実は不思議な野菜ワールドの楽しみ方を提案します。馴染みの顔に新顔、い品種、収穫前の姿など、貴重な写真も満載。38の野菜にまつわる86話を収録。産経新聞の書評でも紹介。



## 653 樹木の名前

高橋勝雄 山と溪谷社

樹木の名前の由来がよくわかる！樹木の名前を覚えて観察に役立つことはもちろん、街歩きや野山散策もいっそう楽しくなる図鑑です。街中から野山で見かける約700種の樹木の和名の由来と見分け方を解説。植物の和名には、現在は馴染みのうすい昔の生活用品、生活文化、身近な動植物などが関係しています。本書では、どうして植物にこの名前がつけられたかを写真やイラストを交えて分かりやすく紹介しています。さらに、野山で間違えやすい種類との見分け方も解説。名前が分かると、その植物により親しみが湧き、植物観察の楽しみ方も広がり、深まります。



## 673 今日も旭ラー

旭川大学経済学部江口ゼミナール

2004年から旭川ラーメンを研究、のべ285店を調査。再度老舗中堅店を中心に調査、そのうち100件を掲載。



## 7芸術

### 726 ディック・ブルーナのすべて

講談社

言葉や世代を超えて世界中で愛されているオランダの絵本作家で、ミッフィーの生みの親であるディック・ブルーナの素顔に迫る本。ミッフィーをはじめボリス、スナッピーなど、絵本の人気者が勢ぞろい。性格や特長、誕生秘話を紹介し、登場人物がすべて正面を向いているわけや、絵本が正方形で、12ページで構成されている理由などブルーナ世界に隠された秘密を探ります。次にブルーナの秘蔵写真とともに誕生から広告デザイナーを経て現在に至るまでの足跡をたどります。ブルーナゆかりの地も訪ねながら、本人をはじめ家族のインタビューも掲載。装丁、ポスター、カードや切手、社会福祉活動など彼の幅広い創作活動も紹介し、人気のブラックベアも登場します。読売新聞の書評でも紹介。

## 754 おりがみで作る箱

布施知子 誠文堂新光社

おりがみで作る生活に使えるようなかわいい箱。同じような形に見えても組み方はさまざまです。コツを覚えれば、シンプルなものからふた付きやワンポイントがついたものまでさまざまな箱を折れます。わかりにくい折り図に関しては写真を入れてわかりやすく解説しています。



## 8言語

### 801 図説古代文字入門

大城道則 河出書房新社

ヒエログリフ、楔形文字、甲骨文、マヤ文字…そして未解読文字の世界まで。古代文字の成り立ちから解読史、読み案内など、古代文明のロマンに満ちた入門書です。書評専門紙「週刊読書人」でも評価されています。

### 809 議論のレッスン

福澤一吉 NHK出版

不毛な言い争いやひとりよがりの文章から抜け出した人における「議論のルールブック」。世の中の多くの議論がはらんでいる問題点に気付くことは、自分自身のものの見方、考え方を再発見することにもつながります。

## 9文学

### 913 がいなもん松浦武四郎一代

河治和香 小学館

“北海道の名付け親”を描いた小説！武四郎は、文化15年に伊勢国、松阪に生まれました。蝦夷地をはじめ日本全国を歩いた冒険家として、また“北海道の名付け親”として知られます。蝦夷地は6回も訪れ、アイヌと親しく交わり、9800(!)ものアイヌの地名を記した地図を作り、和人による搾取の実態を暴いて公にしたため、命を狙われました。そして、〈北海道〉は最初の提案では、〈北加伊道〉だったといひます。さらに、古銭をはじめとして一流の蒐集家であり、古希の記念に富士登山をしたり、葬儀の一部始終を記した遺言状を作ったり、一畳敷の茶室を自分の棺にしようとしたり、〈終活〉にも達人ぶりを見せていました。武四郎老人が自らの生涯を振り返るといふ形式の伝記小説です。朝日、毎日、日経、東京、産経等の新聞や雑誌の書評でも取り上げられています。